

PARNASSIUS

No. 28

目 次

兵庫県におけるRhyarochromus 属 ナガカメムシ5種の分布について.....	高橋 寿郎.....	1
兵庫県のハムシダマシ.....	高橋 寿郎.....	4
淡路島における蝶類の成虫出現期.....	堀 田 久.....	10
ムラサキシジミの採集記録.....	林 俊 雅.....	12
淡路島産蛾類採集記録 (I).....	林 俊 雅.....	13
ヨコヅナツチカメムシ三熊山に産す.....	登 日 邦 明.....	16

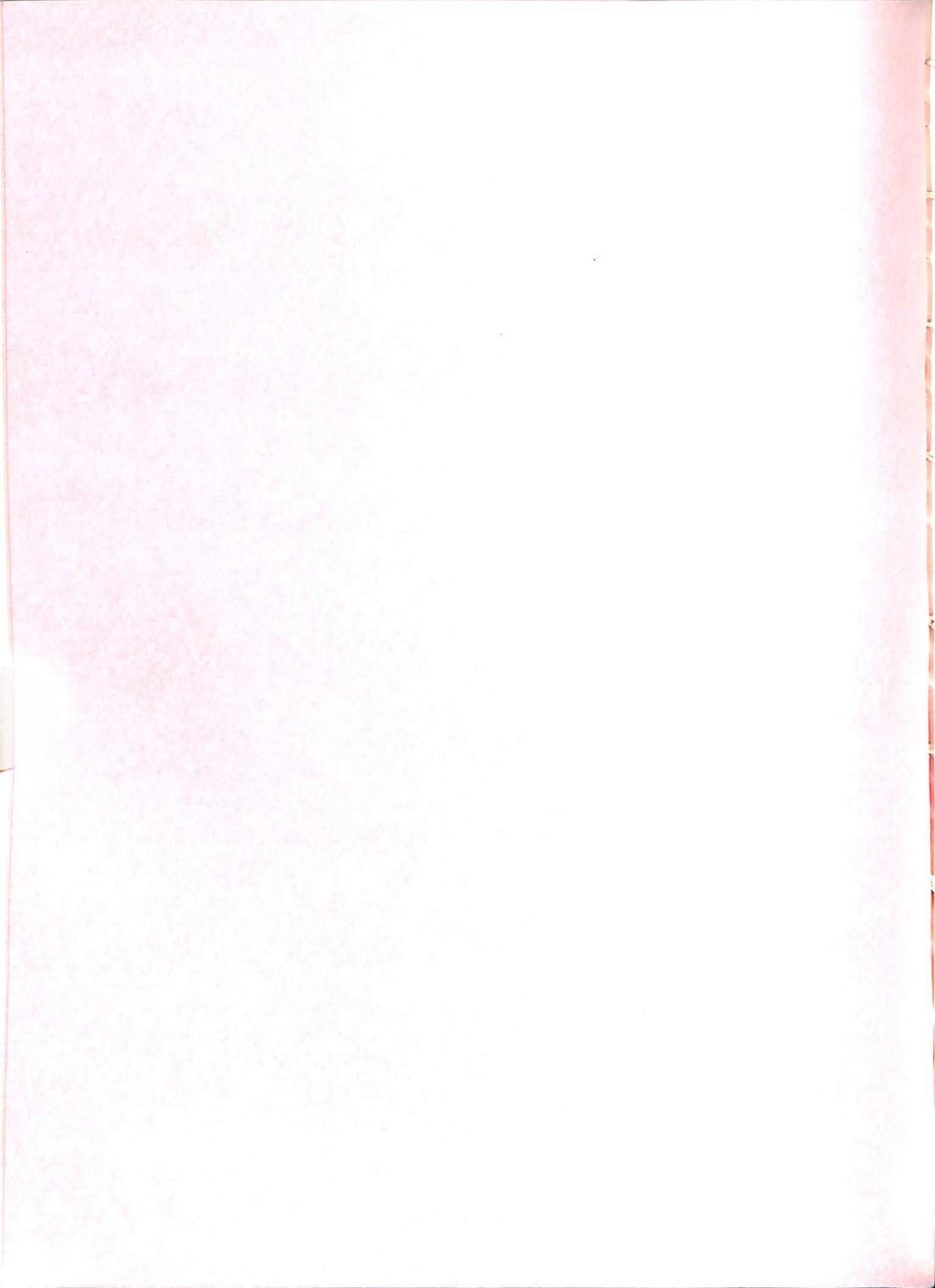
淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN

May

1983



兵庫県における *Rhyparochromus* 属 ナガカメムシ 5 種の分布について

高橋 寿郎

Rhyparochromus 属はナガカメムシ科 Lygeidae のヒョウタンナガカメムシ科 Rhyparochrominae, Tribe Rhyparochromini, subtribe Gonianothinae に属し、日本産は 7 種知られているがその内本州に分布しているのは 5 種であり兵庫県下にもこの 5 種を産する (本州産は総て Subgenus *Panaorus*)。

いずれも余り馴染のないナガカメムシかも知れないが注意すれば比較的目につく種も含まれている。

世界に広く分布している属で多くの種類がふくまれているがその生活史などまだほとんどわかっていないのが現状のようであり食草等も充分調べられていないようで今後の調査にまつ所が大きいグループである。

兵庫県下での分布状況も今迄全くとりあげられたことがないので此処に現時点でわかっている範囲でとりまとめておき度いと思う。

尚この類の分類学的研究は日高輝展氏のものがあり (Kontyu, Vol. 32, №2: 287-298, 378-383, 1964), それには 6 種が図説されておりさらに同氏によって 3 種の原色による図説がある (原色昆虫大図鑑, 第 3 巻, 1965)。いずれも大変貴重なもので本報文の同定に就いては夫々を参考にした。

○ *Rhyparochromus* (*Panaorus*) *adsperus* (Mulsant et Rey, 1852)

原記載, Ann. Soc. Linn. Lyon, 1852: 96. ヨーロッパからアムールに分布している種で日本からは本州の産が知られているだけのようである。和名はついていない。

革質部の先端近くに大きな班紋を有し、前背板の側縁黄味がかった白色。革質部は明るい黄色の部分全般に呈する種で体長 6.5 ~ 7 mm 位である。

県下での分布状況はよくわからない。もっと調べる必要がある種である。

産地: 神戸市烏原 (1 ex., 1-V-1977, 2 exs., 23-IX-1977).^{*} Tarumi, Prov. Harima [10-V-1932, S. Yamada leg., Hidaka, 1964].

○ *Rhyparochromus* (*Panaorus*) *albomaculatus* (Scott, 1874) モン

*産地のところで [] の中のものは文献からの引用, () の中のものは筆者所有標本である。

シロナガカメムシ

Scott氏により *Calyptonotus* (*Pagilius*) 属にて記載されている (Ann. Mag. Nat. Hist. (4)14, 439-440, 1874).

G. Lewis 氏採集品に基づく日本からのカメムシの論文の中で記載されているのであるが原産地名は記入されていない。

江崎博士による図説がある (日本昆虫図鑑, P. 228, f. 586, 1950, *Aphanus* 属)。

分布は本州, 四国, 九州と国外で中国, 満州となっている。江崎博士は乾燥した草地の地上に見られると述べておられ, 日高氏は食草にトウバナをあげておられる (1965)。

川沢, 川村氏も山ぎわの草地で生活していると記しておられる (カメムシ百種, P. 106, 1975, 属名 *Graptopeltus*)。

本種は県下において広く分布しているようであるし, 個体数も多いように思われる。体長, 6.5 mm。

産地: 洲本市三熊山 [1 ex., VIII-1973, 友国, 1974]。川西市大和, 横地 [仲田, 1978]。神戸市烏原 (1 ex., 20-VI-1976., 1 ex., 23-IX-1977, 1 ex., 2-IX-1978), 有馬 (1 ex., 20-VII-1962)。加西市畑 (1 ex., 29-VI-1974, 1 ex., 13-VII-1974)。多可郡市原 (1 ex., 24-IX-1972), 烏羽 (1 ex., 5-VII-1975)。神崎郡大河内町川上 (1 ex., 10-VII-1977, 1 ex., 3-IX-1977)。飾磨郡雪彦山 (1 ex., 14-VII-1967)。宍粟郡赤西 (1 ex., 9-IX-1978)。水上郡 [山本, 1954, 1958]。豊岡市内 [15-IX-1973, 高橋, 1975]。養父郡水の山 (2 ex., 4-IX-1973, K. Tsuji leg.)。美方郡浜坂 (1 ex., 17-X-1978), 扇の山 [高橋, 1975]。

○ *Rhyparochromus* (*Panarous*) *amurensts* (Lindberg, 1934)

原記載は Notul. Ent. 14:10-11, 1934 (*Aphanus* 属)。和名がついていない。種名のようにアムール産で記載された種である。

革質部の先端近くに大きな班紋を有し, 前背板の側方平たい部分には暗班点を欠く。小楯板, 先端を除き全く黒色。爪状部の基部は暗色。前側方角は黒色。体長 7.0 mm。分布は本州, 佐度島, 伊豆大島, 四国, 九州とアムールである。

本種は県下で今迄全く記録が無かったが神戸市内で見出されたりしているのでやはり調査が不充分の種のようなのである。

産地: 神戸市烏原 (2 exs., 31-VI-1977, 2 exs., 15-IX-1977, 3 exs., 28-IX-1977, 1 ex., 1-VIII-1978, 1 ex., 2-X-1978, 1 ex., 15-VI-1980)。藍那 (1 ex., 20-VII-1962)。三木市美曇川々原 (1 ex., 12-VII-1979)。加西市畑 (2 exs.,

27-VII-1974).

○ *Rhyarochromus* (*Panaorus*) *angustantus* (Montandon, 1889)

ウスグロシロヘリナガカメムシ

原記載は Rev. d' Ent., 1889:290 (*Graptopeltus* 属). 爪状部の基部には黒紋あり。革質部の内側には明瞭な黒帯を有する。体長 7.5 mm. 分布は北海道と本州。国外では中国, シベリアが知られている。あまり県下では産地が知られていない。生態, 分布とも今後の調査によらなければと考えている。

産地: 神戸市烏原 (1 ex., 9-IX-1977, 3 exs., 6-X-1977). Tarumi, Prov. Harima [Hidaka, 1964]. 佐用郡大撫山 (1 ex., 19-III-1976). 豊岡市杉ヶ沢 [高橋, 1975].

○ *Rhyarochromus* (*Panaorus*) *jahonicus* (Stål, 1874) シロヘリナガカメムシ

原記載, Enum. Hem., 4:160, 1874, *Pachymerus* (*Graptopeltus*) 属で記載。種名のごとく日本からの記載となっている。

爪状部の基部に黒紋なく, 革質部はうすい黒色の帯がある。体長 7.0 mm. 分布は本州, 四国, 九州である。

江崎博士も *Aphanus* 属で図説しておられる (I. C., P. 228, f. 585, 1950). 食草は日高氏がムラサキ科植物としておられる。生態と共に良くわかっていない。江崎博士は普通種と書いておられる。

県下での産もそう多くない。調査の必要がある種である。

尚, 日浦 勇氏はモンシロナガカメムシ, シロヘリナガカメムシを共に *Graptopeltus* 属として扱っておられる (原色日本昆虫図鑑, 下巻, 1977).

産地: 川西市大和 [仲田, 1978]. 西宮市仁川 (2 exs., 21-X-1956). 神戸市烏原 (1 ex., 21-V-1978). Tarumi, Prov. Harima [Hidaka, 1964]. 朝来郡竹田 (1 ex., 1-V-1978).

以上兵庫県産 *Rhyarochromus* 属ナガカメムシ 5 種の分布を中心に説明させて頂いたがまだまだ全くわからないことが多すぎる。引続き観察, 調査を続ける必要を痛感している。

(XII-1982)

兵庫県のハムシダマシ

(兵庫県甲虫相資料・123)

高橋 寿郎

日本産のハムシダマシ科(Lagriidae)に属する甲虫は概数18種(中根, 1972)が知られている。一般に花上, 葉上に多く見られ, 落葉下, 砂地のごみの下などにも棲んでいるがその生活史に就いての詳しい報告はないようである。日本産の種に就いての総括的な研究も見受けられないが中根博士は日本産14種を原色図説しておられる(1963)。幼虫の図説は林博士が5種に就いて詳しく調べておられる(1964, 1968)。

兵庫県産のこの類をまとめた報告は残念ながら今迄無かった。たゞ県産のこの類は9種の分布が知られているが特に珍しいものは見られなく, その意味では余り興味の湧かないグループかも知れない。始めに記した様に生活史等が全くわかっていないものが多いのでその方面の調査をやる必要があると考えられる。一応現時点での県下のこの仲間をまとめて見ることにした。

また中条道崇氏はスジコガシラゴミムシダマシ(*Heterotarsus carinula*)を詳しく調べられてこの種はハムシダマシ科のものではなく独立の科コガシラゴミムシダマシ科(*Heterotarsus*)とすべきであるとの見解を発表しておられる(Jour. Agr. Kyushu Univ. 14, I:30, 1966)(中条氏はその論文で従来 of *Heterotarsus crenulifer* Kasabもこの科に移すべきと論じておられるのでコガシラゴミムシダマシ科の日本産は2種と云うことになる)。

本報文では一応ハムシダマシ科にふくませて取扱っておいたが別科として取扱った方が良いのかもしれない。

Family Lagriidae ハムシダマシ科

1. *Luprops cribrifrons* (Marseul, 1876) アラメヒゲブトゴミムシダマシ
Marseulにより *Lyprops* 属で "Kiu-Sin et Nippon," を産地に記載された種である(Ann. Soc. Ent. Fr. V, 6:124-126, 1876)。

Lewisは "Nagasaki. Not found in North Japan nor is it very abundant in the south," と記録された(Ann. Mag. Nat. Hist. 6, Xiii: 474, 1949)。中根博士は *Lyprops* 属で図説された(新昆虫, 2巻, 6号, P. 259, 1949)。さらに *Luprops* 属で原色図説をされた(1963)。分布は本州, 四国, 九州。

成虫、幼虫ともに落葉下や枯れ木の下などに見られる。冬季オサムシ堀などで得られる。県下では普通に得られる種である。山地帯での記録が余り無いが之は調査不充分的結果と思う。

産地：洲本市先山(2exs., 9-III-1978)*。川西市笹部(1ex., 9-IV-1978)〔仲田, 1979, 1982〕。神戸市保久良山(1ex., 30-XII-1975), 烏原(1ex., 25-VII-1971, 1ex., 23-VII-1972, 1ex., 14-VI-1980), 山の街(1ex., 30-III-1975, 1ex., 20-III-1977, 1ex., 17-I-1976), 藍那(1ex., 14-XII-1975), 白川(1ex., 23-XI-1956), 妙法寺(1ex., 11-XI-1978)。飾磨郡家島(1ex., 26-V-1978)〔上田, 1981〕。佐用郡大撫山(1ex., 15-III-1975, 1ex., 6-XII-1975)。城崎郡城崎町(6exs., 25-X-1978)。

2. *Luprops sinensis* (Marseul, 1876) ヒゲブトゴミムシダマシ

本種もMarseulにより*Lyprops*属で“*Kiu-Siu et Nippon*”を産地に記載された(I. C., P. 125-126, 1876)。

Lewisも“This species is extremely abundant both in China and Japan. It is most abundant in the dead stems of *Batatas edulis*, which is often hung up in trees in masses to dry in both countries. Hab. Kiushiu and main island.”と大麥多くいることを記録している(I. C., P. 474, 1894)。

中根博士の図説(1949), 湯浅, 河野博士の図説(1950)があり中根博士は*Luprops*属の種として原色で図説された(1963)。

本種の生活史については笹本, 村松両氏の貴重な報告がある(新昆虫, 9巻, 1号, P. 20-23, 1956)。

分布は北海道, 本州, 四国, 九州, 台湾, 支那である。

普通種である。成虫・幼虫ともに石や落葉の下等に多く, また松等の枯枝やそだに集集する。また成虫は燈火にも飛来する。成虫は4月頃枯れ木に産卵, 成・幼虫ともに枯れ木の上を匍匐し, 樹皮を食べる。幼虫期間は約2ヶ月, 樹皮下や表面で蛹化する。幼虫は6令まで。幼虫の図説は福田氏(日本幼虫図鑑, P. 482, f. 905, 1959), 並びに林博士のもの(Ins. Mats., 27巻, 1号, P. 28-30, 1964)がある。

産地：津名郡常隆寺山〔宮武, 1973〕。洲本市三熊山〔宮武, 1973〕, 安乎町〔堀田, 1978〕。洲本市鮎屋, 諭鶴羽山〔宮武, 1973, 1974〕。川辺郡猪名川町槻並(1ex., 2-

*産地の所で〔 〕の中のものは記録からの引用, ()は筆者採集標本所有のもの。

Ⅷ-1978)。川西市大和，笹部〔仲田，1978，1982〕。神戸市一毛山(1ex., 22-IV-1978)，丹生山(1ex., 5-V-1956)，道場(1ex., 13-IV-1974)，烏原(1ex., 20-VII-1978)，藍那(1ex., 27-VI-1978)，妙法寺(1ex., 23-V-1979)。明石「明石公園(1ex., 29-VI-1975)。加西市畑(6exs., 17-VI-1974, 1ex., 23-VI-1974, 3exs., 29-IV-1974, 2exs., 21-V-1973)，烏羽(1ex., 5-VII-1975)。相生市三濃山(1ex., 7-V-1972)。佐用郡大撫山(2exs., 25-IV-1976)。宍粟郡音水(2exs., 25-V-1976)。水上郡〔山本，1958〕。出石郡出石町新宮〔高橋，1963〕。養父郡氷の山(7exs., 25-VII-1959)。美方郡扇の山〔辻，1963.，辻，岸田，1972，高橋，1976〕。

3. *Heterotarsus carinula* Marseul, 1876 スジコガシラゴミムシダマシ

Marseulによって "Kiu-Siu et Nippon(Osaka)", 産で記載された種である。中根博士の図説があり(1949, 1963)。始めに記したように中条氏の詳しい検討もある(1966)。

成虫は河原，海岸などの砂地のごみの下などにすみ，幼虫も同じ場所にいて腐植物を食べる。幼虫の図説は林博士のものがある(1968)。県下に広く分布していると考えられる。

産地：川西市大和，笹部，東畦野一の鳥居〔仲田，1978，1982〕。宝塚市(2ex., 23-VII-1954)。神戸市烏原(1ex., 26-VII-1956, 11exs., 2-V-1954, 1ex., 4-VII-1971, 1ex., 18-VII-1974, 1ex., 1-IX-1974, 1ex., 27-VII-1975, 1ex., 12-VI-1976, 1ex., 17-VII-1976, 1ex., 11-VI-1981, 1ex., 25-VI-1981)，藍那(3exs., 10-VI-1978, 1ex., 27-VI-1978)。飾磨郡雪度山(1ex., 5-XII-1976)。神崎郡大河内町川上(1ex., 6-VIII-1977)。宍粟郡波賀町水谷(1ex., 17-VII-1981)。水上郡〔山本，1958〕。出石郡出石町奥山〔高橋，1963〕。城崎郡日高町鶴岡〔高橋，1975〕。

4. *Lagria verveax* Marseul, 1876 ハムシダマシ

Marseulによって "Kiu-Siu, Nippon", を産地に記載された種である(1876)。中根博士の図説がある(1963)。

従来 *L. nigricollis* Hope なる学名を使われていた(湯浅，河野，1950)。林博士の幼虫の解説がある(1964)。

分布は日本全域，樺太，朝鮮，支那，東シベリアと広い。

兵庫県下でも普通種である。成虫は花や葉上に多く見られる。幼虫は朽ち木や落葉の下などにすみ腐植物を食べる。5月ごろ蛹化する。

産地：三原郡諭鶴羽山〔宮武，1974，堀田，1978〕。川辺郡猪名川町槻並（3exs., 2-VI-1978），杉生新田〔仲田，1982〕。川西市大和，笹部〔仲田，1978，1982〕，一の鳥居（4exs., 22-VI-1952）。神戸市御影〔関，1933〕，二十渉（1ex., 26-VI-1955），五社（1ex., 28-VI-1955），鳥原（1ex., 13-VI-1971，2exs., 2-VI-1972，1ex., 18-VI-1972，1ex., 12-VI-1980，4exs., 13-VI-1980），藍那（1ex., 27-VI-1978），押部谷町木見（1ex., 23-VI-1980）。加西市畑（1ex., 23-VI-1974，4exs., 29-VI-1974）。多可郡鳥羽（4exs., 19-VI-1975）。神崎郡大河内町川上（3exs., 15-VI-1977，1ex., 23-VI-1977）。飾磨郡家島〔上田，1981〕。相生市三濃山（2exs., 6-VI-1973，1ex., 1-VI-1974，1ex., 16-VI-1974）。宍粟郡音水（2exs., 30-VI-1972，3exs., 15-VI-1973）。水上郡〔山本，1958〕。豊岡市〔高橋，1975〕。養父郡氷の山（2exs., 2-VI-1953，1ex., 25-VI-1955，3exs., 27-VI-1957，5exs., 21-VI-1958，2exs., 25-VI-1959），鉢伏山〔高橋，1975〕。美方郡扇ノ山〔辻，1963.，辻，岸田，1972，高橋，1975〕。

5. *Arthromacra decora* (Marseul, 1876) アカガネハムシダマシ

Marseulによって *Lagria* 属で "Hiogo, 産で記載された種である (I. C., PR. 339-340, 1876)。

Lewisは *Arthromacra* 属で "Kobe, near the base of Maiyasan. Apparently very local. I took one specimen in 1871 and on returning to the place on the 11th June, 1881, I found seven others," と記録された (Ann. Mag. Nat. Hist. 6(XV):278, 1895)。

中根博士の図説がある (1963)。分布は本州だけが知られている。

本種も普通種である。成虫は山地の花に見られる。幼虫は朽ち木を食べて成育する。

産地：川辺郡猪名川町木間生，槻並〔仲田，1978，1982〕。川西市大和，笹部〔仲田，1978，1982〕。Hiogo〔Marseul, 1876〕。Kobe, Maiyasan〔Lewis, 1895〕。神戸市山の街（1ex., 29-IV-1959，1ex., 10-V-1959），丹生山（1ex., 5-V-1956，2exs., 29-IV-1958，3exs., 25-V-1958），帝釈山（2exs., 30-IV-1973），藍那（4exs., 29-V-1978，1ex., 20-V-1979）。多可郡日山（5exs., 3-V-1973，2exs., 27-V-1973）。神崎郡大河内町川上（2exs., 7-V-1971，2exs., 21-V-1977，3exs., 4-VI-1977，1ex., 18-VI-1977）。相生市三濃山（1ex., 28-IV-1974，1ex., 18-V-1974）。宍粟郡音水（1ex., 20-VI-1959，1ex., 31-V-1970，2exs., 25-V-1972，2exs., 11-VI-1972，1ex., 13-V-

1973, 1 ex., 3-VI-1973, 1 ex., 24-V-1972), 赤西 (2 exs., 21-V-1979, 2 exs., 27-V-1979). 養父郡坂の谷 (26 exs., 9-VI-1973), 氷ノ山 [高橋, 1975]. 美方郡扇ノ山 [辻, 1963., 辻, 岸田, 1972].

6. *Arthromacra sumptuosa* Lewis, 1895 アカハムシダマシ

Lewisにより "Chiuzenji. Apparently scarce and local. Six examples,, を産地に記載された種である (I. C., P. 277, 1895).

中根博士の図説がある (1963). 分布は本州である.

成虫は山地の花に集り幼虫は日陰の朽ち木の中にトンネルをあけて食べ進む. 5~6月に朽ち木の中で蛹化する.

県下では個体数がそう多いように思われない.

産地: 相生市三濃山 (3 exs., 6-V-1973, 2 exs., 20-V-1973, 1 ex., 1-VI-1974). 養父郡杉ヶ沢 [高橋, 1975].

7. *Arthromacra viridissima* Lewis, 1895 アオハムシダマシ

Lewisにより "Miyanoshita, Oyama, Tokio, Nikko and Hitoyoshi. This pretty species is common in certain places in May, occurring in the flowers of *Deutzia* and *Cerasus*.,, として記載された種である (I. C., P. 277, 1895).

湯浅, 河野博士 (1950), 中根博士 (1963) の図説があり, 幼虫は福田氏 (1959), 林博士 (1964) の図説がある. 本州, 四国, 九州に分布.

成虫は山地の花に集り蜜をなめる. 幼虫は日陰の地面にころがる朽ち木や枯れ枝の中にトンネルをあけて食べ進む, 5~6月にこれらの中で蛹化する. 本種もそれ程多い種とは思われない.

産地: 神戸市六甲山 (3 exs., 8-V-1955), 山の街 (2 exs., 17-V-1953, 1 ex., 16-V-1954, 1 ex., 29-IV-1959, 5 exs., 10-V-1959), 丹生山 (1 ex., 5-V-1956), 谷上 (6 ex., 29-IV-1958). 宍粟郡音水 (1 ex., 20-VII-1958, 1 ex., 21-V-1952, 1 ex., 11-VI-1972), 赤西 (2 exs., 27-V-1979). 氷上郡柏原 (1 ex., 10-V-1953) [山本, 1958]. 豊岡市愛宕山 [高橋, 1975]. 養父郡氷の山 [高橋, 1975]. 美方郡扇ノ山 [辻, 1963., 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975].

8. *Macrologria hirsuta* (Lewis) ツヤナガハムシダマシ

従来 *Nemostria* 属の種として扱われていた (湯浅, 河野, 1950., 中根, 1963).

1978年の大図鑑追補，正誤表で*Macrologria*属の取扱をされている。分布は本州だけである。

筆者は県下で未採集でよくわからない。

産地：氷上郡〔山本，1958〕。養父郡氷の山〔高橋，1975〕。美方郡扇の山〔高橋，1975〕。

9. *Macrologria rufobrunnea* (Marseul, 1876) ナガハムシダマシ

Marseulによって*Statyra*属で"*Kiu-Siu*(*Omuza*)"を産地に記載された種である(I. C., P. 340, 1876)。本種も同じく*Nemostria*属の種と扱われていた。中根博士の図説(1963)。黒佐(1959)，林(1964)両博士の幼虫図説がある。1978年の大図鑑追補，正誤表で*Macrologria*属の種として扱われた。分布は本州，四国，九州。

成虫は葉上にいる。幼虫は朽ち木の中にトンネルをあけて食べ進み，朽ち木の中で蛹化する。普通種である。

産地：川辺郡猪名川町木間生，槻並中〔仲田，1978，1982〕。川西市笹部，大和〔仲田，1970，1978，1982〕。神戸市山の街(1ex., 5-V-1955, 1ex., 30-IV-1978)，谷上(1ex., 3-V-1957)，丹生山(1ex., 15-V-1955, 3exs., 18-V-1958)，帝釈山(1ex., 30-IV-1973)，山の街(1ex., 30-IV-1978)，藍那(1ex., 22-V-1978)，妙法寺(1ex., 25-III-1979, 3exs., 23-V-1979)。多可郡白山(1ex., 3-V-1973)。相生市三濃山(2exs., 3-V-1969, 3exs., 7-V-1972, 3exs., 6-V-1973, 1ex., 28-IV-1974, 3exs., 12-V-1974, 5exs., 18-V-1974)。佐用郡大撫山(1ex., 2-V-1978)。宍粟郡音水(1ex., 31-V-1970, 1ex., 3-VI-1975, M. Yuma leg.)。養父郡坂の谷(1ex., 31-V-1970)，氷の山〔高橋，1975〕。美方郡扇ノ山〔辻，1963.，辻，岸田，1972，高橋，1975〕。

以上兵庫県産ハムシダマシ科9種の分布を中心に県下のものを紹介した。始めに記した様に県下にはこの他にもまだ産する種がいる可能性は充分あるし個々の種に就いてもまだ分布の不充分の点もあり，まして生態方面では全くの手づかずと云うのが現状のようなのでこの方面での調査研究の必要性を痛感している次第である。

(Feb. 1983)

淡路島における蝶類の成虫出現期

堀 田 久

本誌前号でも述べたように、筆者は長年にわたって淡路島の蝶類の観察を続けてきたので、これまでの観察記録と確かな文献に基づいて、淡路島での成虫の出現期を月別にまとめてみた。なお、島内でこれまでに記録された種でも、今の所迷蝶と思われるものは除外した。

番号	種 別	月 別											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	セセリチョウ科												
1	ミヤマセセリ			—	—	—							
2	ダイミョウセセリ							—	—				
3	アオバセセリ					—		—	—				
4	ホソバセセリ						—	—	—				
5	キマダラセセリ						—	—	—	—			
6	コチャバネセセリ					—		—	—		—		
7	オオチャバネセセリ							—	—				
8	チャバネセセリ						—	—	—				
9	イチモンジセセリ						—	—	—	—			
	アゲハチョウ科												
10	ジャコウアゲハ				—	—	—	—	—				
11	アオスジアゲハ				—	—	—	—	—				
12	キアゲハ					—	—	—	—				
13	ナミアゲハ			—	—	—	—	—	—	—			
14	クロアゲハ				—	—	—	—	—	—			
15	ナガサキアゲハ					—		—	—	—	—		
16	モンキアゲハ					—	—	—	—	—			
17	カラスアゲハ					—	—	—	—	—			
18	ミヤマカラスアゲハ					—				—			
	シロチョウ科												
19	キチョウ			越冬	—	—	—	—	—	—	—	—	
20	ツマグロキチョウ			越冬				—			—	—	
21	モンキチョウ		—	—	—	—	—	—	—	—			

番号	種別	月別											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
22	ツマキチョウ												
23	モンシロチョウ												
24	スジグロシロチョウ												
25	エゾスジグロシロチョウ												
	シジミチョウ科												
26	ムラサキシジミ				越冬								
27	アカシジミ												
28	ウラナミアカシジミ												
29	ミズイロオナガシジミ												
30	ミドリシジミ												
31	オオミドリシジミ												
32	トラフシジミ												
33	コツバメ												
34	ベニシジミ												
35	クロシジミ												
36	ゴイシシジミ												
37	ウラナミシジミ												
38	ヤマトシジミ												
39	シルビアシジミ												
40	ルリシジミ												
41	ヤクシマルリシジミ												
42	ツバメシジミ												
	ウラギンシジミ科												
43	ウラギンシジミ				越冬								
	テングチョウ科												
44	テングチョウ				越冬								
	マダラチョウ科												
45	アサギマダラ												
	タテハチョウ科												
46	ウラギンスジヒョウモン												

番号	種別	月別											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
47	ミドリヒョウモン												
48	クモガタヒョウモン												
49	メスグロヒョウモン												
50	オオウラギンヒョウモン												
51	ツماغロヒョウモン												
52	コミスジ												
53	キタテハ				越冬								
54	ルリタテハ				越冬								
55	ヒオドシチョウ												
56	ヒメアカタテハ												
57	アカタテハ				越冬								
58	スミナガシ												
59	ゴマダラチョウ												
	ジャノメチョウ科												
60	ヒメウラナミジャノメ												
61	ウラナミジャノメ												
62	ジャノメチョウ												
63	クロヒカゲ												
64	ヒカゲチョウ												
65	サトキマダラヒカゲ												
66	ヒメジャノメ												
67	コジャノメ												
68	クロコノマチョウ												

ムラサキシジミの採集記録

筆者は、1982年に洲本市宇山でムラサキシジミ *Narathura japonica* Murray ♂1頭を採集しているので、報告しておく。

前号(№27)の堀田 久氏の報告では、本種の個体数は極めて少なくなっているということである。

Uyama, Sumoto, 18, 22. III. 1982

尚、標本は筆者が保管している。

(林 俊雅)

淡路島産蛾類採集記録 (I)

林 俊 雅

筆者が柳学園高校在学中(1980年~1982年)に採集した蛾類の報告をしておく。

在学中には、生物部の顧問でもあり、本稿起草にあたっては御指導を頂いた、登日邦明先生には、深く感謝いたしております。

尚、報告文中の一部の標本においては、登日邦明先生方に保管していただいている。

Noctuidae ヤガ科

1. *Anacronicta nitida* Butler ウスベリケンモン
Uyama, Sumoto, lex., 12. IV. 1981
2. *Moma champa* Moore キバラケンモン
Uyama, Sumoto, lex., 8. IV. 1981
Uyama, Sumoto, lex., 11. IV. 1981
3. *Daseochaeta viridis* Leech ミドリケンモン
Uyama, Sumoto, 2exs., 8. XI. 1981
Uyama, Sumoto, lex., 15. XI. 1981
4. *Craniophora fasciata* Moore シマケンモン
Monobe, Sumoto, lex., 2. V. 1981
5. *Acronicta digna* Butler クビグロケンモン
Uyama, Sumoto, lex., 12. IV. 1981
Uyama, Sumoto, lex., 1. V. 1981
Uyama, Sumoto, lex., 14. IX. 1981
6. *Agrotis fucosa* Butler カブラヤガ
Uyama, Sumoto, lex., 19. VII. 1980
7. *Diarsia deparca* Butler コウスチャヤガ
Monobe, Sumoto, lex., 28. IV. 1981
8. *Mamestra brassicae* Linné ヨトウガ
Monobe, Sumoto, lex., 28. IV. 1981
9. *Mamestra illoba* Butler シロシタヨトウ
Monobe, Sumoto, lex., 28. IV. 1981
10. *Orthosia evanida* Butler カバキリガ

- Uyama, Sumoto, 1ex., 16. III. 1981
- Uyama, Sumoto, 2exs., 22. III. 1981
11. *Orthosia nigromaculata* Höne カギモンキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 6. IV. 1981
12. *Orthosia lizetta* Butler クロミミキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 6. IV. 1981
13. *Orthosia limbata* Butler シロヘリキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 18. III. 1982
14. *Orthosia munda* Schiffermüller スモモキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 20. III. 1981
15. *Orthosia gothica askoldensis* Staudinger カシワキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 22. III. 1981
Uyama, Sumoto, 1ex., 7. IV. 1981
16. *Panolis flammea japonica* Draudt マツキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 12. IV. 1981
17. *Dryobotodes intermissa* Butler ナカオビキリガ
Uyama, Sumoto, 2exs., 29. XI. 1981
18. *Xylena formosa* Butler キバラモクメ
Uyama, Sumoto, 1ex., 20. XI. 1981
19. *Lithophane pruinosa* Butler カシワキボシキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 29. XI. 1981
20. *Eupsilia tripunctata* Butler ミツボシキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 13. II. 1982
21. *Eupsilia contracta* Butler ウスミミモンキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 29. XI. 1981
22. *Blepharosis costalis* Butler キマエキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 15. XI. 1981
23. *Valeriodes viridimacula* Draudt アオバハガタキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 29. XI. 1981
24. *Telorta acuminata* Butler ウスキトガリキリガ
Uyama, Sumoto, 1ex., 8. XI. 1981
Uyama, Sumoto, 1ex., 16. XI. 1981

- Uyama, Sumoto, lex., 20. XI. 1981
25. *Dypterygia caliginosa* Walker クロモクメヨトウ
Uyama, Sumoto, lex., 27. VIII. 1981
26. *Prodenia litura* Fabricius ハスモンヨトウ
Uyama, Sumoto, 2exs., 14. IX. 1981
Uyama, Sumoto, lex., 8. XI. 1981
27. *Perinaenia accipiter lignosa* Butler モクメカラスヨトウ
Uyama, Sumoto, lex., 25. IV. 1981
28. *Amphipyra livida corvina* Motschulsky カラスヨトウ
Uyama, Sumoto, lex., 2. I. 1981
29. *Hadjina biguttula* Motschulsky フタテンヒメヨトウ
Uyama, Sumoto, lex., 22. V. 1981
30. *Dadica albisignata* Oberthür シロテンウスグロヨトウ
Uyama, Sumoto, lex., 21. V. 1981
31. *Eutelina flandatrix* Guenée コフサヤガ
Uyama, Sumoto, lex., 24. IV. 1981
32. *Risoba prominens* Moore リュウキュウキノカワガ
Uyama, Sumoto, lex., 26. VIII. 1981
Uyama, Sumoto, lex., 27. VIII. 1981
33. *Blenina senex* Butler キノカワガ
Uyama, Sumoto, lex., 25. VII. 1980
34. *Westermannia nobilis* Staudinger マエキリンガ
Uyama, Sumoto, lex., 16. V. 1981
35. *Paracrama dulcissima* Walker ウスアオリンガ
Uyama, Sumoto, lex., 18. IV. 1981
36. *Autographa purissima* Butler ギンモンシロウワバ
Uyama, Sumoto, lex., 26. IV. 1981
37. *Oruza glaucotorna* Hampson モンシロクルマコヤガ
Uyama, Sumoto, lex., 16. V. 1981
38. *Eustrotia culta* Butler アオスジコヤガ
Uyama, Sumoto, 2exs., 5. IX. 1981
39. *Oraesia excavata* Butler アカエグリバ

- Uyama, Sumoto, lex., 16. XI. 1981
40. *Calpe gruesa* Draudt オオエグリバ
Uyama, Sumoto, lex., 14. IX. 1981
41. *Plusiodonta casta* Butler マダラエグリバ
Uyama, Sumoto, lex., 18. V. 1981
42. *Erygia apicalis* Guenée アカテンクチバ
Uyama, Sumoto, lex., 16. V. 1981
43. *Erebus crepuscularis* Linné オオトモエ
Uyama, Sumoto, lex., 3. IX. 1980
44. *Dichromia trigonalis* Guenée タイワンキシタアツバ
Monobe, Sumoto, lex., 2. V. 1981

ヨコヅナツチカメムシ三熊山に産す

ヨコヅナツチカメムシ *Adrisa magna* Uhler は、淡路島未記録の大型のカメムシであるが、柳学園高校生物部のOBである西岡公明氏が洲本市三熊山 (alt. 152 m) の山麓で採集されているので、ここに記録しておきたい。同氏によると、夜間に街燈の下を歩行していたものを採集された由である。

Mt. Mikumayama, lex., 1. VI. 1981 (K. Nishioka leg.)

尚、標本は同氏の厚意により筆者が保管している。

(登日 邦明)

編 集 後 記

▽ '83年度の1号めをお届けします。今回は珍しくほぼ予定通りに発行できました。原稿をお寄せ下された諸兄に厚くお礼申し上げます。

▽ 次号は秋季発行予定です。どんな小さな記録でも奮ってご寄稿下さい。

(T)

PARNASSIUS

№ 28

1983年4月27日 印刷

1983年5月3日 発行

編集者 登日 邦明

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235 登日方

郵便振替 神戸7-49591

印刷所 れいめい社

〒656 洲本市本町5丁目1-24

